

社会科授業で取り扱う身近な生活道具

番号	名称	キーワード	説明	写真
A-01	黒電話 (くろでんわ)	伝える (意思伝達)	ダイヤル式の黒電話。1960～80年代にかけて、どこのお家庭でも見られた形です。 昭和39年製	
A-02	携帯ラジオ (けいたいらじお)	遊ぶ 楽しむ (玩具 遊戯 娯楽)	1955年、国産トランジスタラジオの商品化を皮切りに、ラジオの小型化が進みました。 昭和30年代 ビクター 8TA-3型	
A-03	自動蠅取器 (じどうはえとりき)	住まう (住)	大正末期 商品名「ライトリック」 尾張時計製	
A-04	エアース式殺虫剤 (えあーしきさつちゅうざい)	住まう (住)	キンチョール (エアゾール)	
A-05	炭火アイロン1 (すみびあいろん)	よそおう (容姿)	現在のアイロンの原型となるもので、炭の火力調整もできます。	
A-06	火のし (セット) (ひのし)	よそおう (容姿)	炭火アイロンが登場する前の、衣服のしわをのばす道具です。 小さいタイプは、衣服の狭い箇所のしわ伸ばしに使われました。	
A-07	火のし (ひのし)	よそおう (容姿)		




社会科授業で取り扱う身近な生活道具

番号	名称	キーワード	説明	写真
B-01	蠅取紙 (はえとりがみ)	住まう (住)	ハイトリリボン 昭和30年代後半	
B-02	蠅取器 (はえとりき)	住まう (住)	据え置きタイプ	
B-03	蚊遣豚 (かやりぶた)	住まう (住)	今では蚊取り線香の中に入れて使いますが、もともとは蚊遣り(おがくず、小枝、落ち葉、乾燥させた草などを使って火をおこし、いぶしたものを)入れる道具でした。	
B-04	蚊いぶし器 (かいぶしき)	住まう (住)	ほていさんの置物の形をしています。ぶたを取ると、蚊取り線香が入っています。	
B-05	蚊取り線香 (かとりせんこう)	住まう (住)	今の渦巻き型が開発されたのは1902 明治35 年です。	
B-06	線香皿 (せんこうざら)	住まう (住)	ズボンに携帯して使うタイプ	
B-07	噴霧器1 (ふんむき)	住まう (住)	殺虫液の入れ物はプラスチック製です。	
B-08	噴霧器2 (ふんむき)	住まう (住)	噴射用取っ手以外は金属製です。	
B-09	噴霧器3 (ふんむき)	住まう (住)	殺虫液の入れ物はプラスチック製です。	
B-10	噴霧器4 (ふんむき)	住まう (住)	噴射用取っ手以外は金属製です。	

番号	名称	キーワード	説明	写真
C-01	台ランプ (だいらんぷ)	住まう (住)	専用の台の上にこのランプを置いて使用しました。	
C-02	飯びつ (めしびつ)	食べる (食料調理・食)	月象「涼味飯びつ」 茶谷金属化成工業(株)製 夏でも炊いたご飯を長く保存できるよう、風通しのよい構造になっています。	
C-03	陶枕1 (とうちん)	住まう (住)	陶器製の枕で、頭を載せるところに風が通るよう工夫してあります。	
C-04	陶枕2 (とうちん)	住まう (住)	陶器製の枕で、中に水を入れて冷たくして使うこともできます。「富貴」「長命」など縁起のよい文字が書かれています。	
C-05	団扇1 (うちわ)	あおぐ・涼む	昭和10年代のものと思われ、「貯金報国」などの標語や、戦艦、戦闘機などのイラストに、当時の世相が反映されています。	
C-06	団扇2 (うちわ)	あおぐ・涼む	デザインが凝っているため、商品として販売されていたものと考えられます。	
C-07	団扇3 (うちわ)	あおぐ・涼む	お土産品あるいは民芸品と考えられます。	
C-08	団扇4 (うちわ)	あおぐ・涼む	宣伝用に商店がおまけとして配布したのと考えられます。	
C-09	団扇籠 (うちわかご)	あおぐ・涼む		

番号	名称	キーワード	説明	写真
D-01	湯たんぽ1 (ゆたんぽ)	あたためる (暖房)	陶器製・平型	
D-02	湯たんぽ2 (ゆたんぽ)	あたためる (暖房)	陶器製・平型	
D-03	湯たんぽ3 (ゆたんぽ)	あたためる (暖房)	陶器製・俵型	
D-04	湯たんぽ4 (ゆたんぽ)	あたためる (暖房)	ブリキ製	
D-05	豆炭行火 (まめたんあんか)	あたためる (暖房)	品川燃料製 「豆炭1個で24時間」が売り文句でした。	
D-06	カイロ1 (かいろ)	あたためる (暖房)	ハクキンカイロ製 ベンジンを燃料に使いますが、気化したベンジンが白金の触媒作用で徐々に酸化発熱することを利用して、安全で長時間暖かさを保つようになっています。	
D-07	カイロ2 (かいろ)	あたためる (暖房)	ナショナル黄金カイロ 松下電器産業製 原理は白金カイロと同じですが、乾電池を使って点火するタイプです。	
D-08	カイロ3 (かいろ)	あたためる (暖房)	サンエックス製 鉄粉、水、木材チップ、活性炭を材料とした、現在主流のカイロですが、郵便物として送ることができるアイデア商品です。	
D-09	炭火アイロン2 (すみびあいろん)	よそおう (容姿)	台付き	

番号	名称	キーワード	説明	写真
E-01	教科書 (きょうかしょ)	伝える (意思伝達)	主に大正時代 約40冊	
E-02	家計簿1 (かけいぼ)	住まう (住)	昭和41 (1966 年)	
E-03	家計簿2 (かけいぼ)	住まう (住)	昭和43 (1968 年)	
E-04	紙芝居 常会の手引」 (かみしばい じょうかいのてびき)	伝える (意思伝達)	昭和17 (1942 年) 戦時中の隣組制度の進め方を紙芝居形式で指導する内容です。	
E-05	雑誌 少年キング」 (ざっし しょうねんきんぐ)	遊ぶ 楽しむ (玩具 遊戯 娯楽)	昭和42 (1967 年)	
E-06	雑誌 少女フレンド」 (ざっし しょうじょふれんど)	遊ぶ 楽しむ (玩具 遊戯 娯楽)	昭和40 (1965 年)	
E-07	雑誌 暮らしの手帖」1 (ざっし ぐらしのてちょう)	伝える (意思伝達)	昭和45 (1970 年)	
E-08	雑誌 暮らしの手帖」2 (ざっし ぐらしのてちょう)	伝える (意思伝達)	昭和46 (1971 年)	
E-09	雑誌 「子ども家の光」 (ざっし こどもいえのひかり)	伝える (意思伝達)	昭和32 (1957) - 33 (1958 年)	
E-10	雑誌 「子どもペン」 (ざっし こどもペン)	伝える (意思伝達)	昭和22 (1947 年) 小学1・2年の童話雑誌	

番号	名称	キーワード	説明	写真
E-11	関東震災全地域鳥瞰 図絵 (かんとしんさいぜんちいき ちょうかんずえ)	伝える (意思伝達)	大正13 (1924 年)9月15日 吉田初三郎著	
E-12	名古屋市営交通の周年記念品 (なごやしえいこうつうのしゅ うねんきねんひん)	伝える (意思伝達)	「市営交通70年のあゆみ」平成 4 (1992 年) 「市営15周年記念色紙」市電のイ ラスト3枚	
E-13	トヨタ自動車のカタログ グ (とよたじどうしゃのかたろぐ)	遊ぶ 楽しむ (玩具 遊戯 娯楽)	昭和32 (1957) - 33 (1958 年)	
E-14	1970年代を象徴する もの (1970ねんだいをしょうちょう するもの)	遊ぶ 楽しむ (玩具 遊戯 娯楽)	大阪万博の写真 オーディオ機器の取り扱い説明 書	